



MIYOSHI
CENTRAL HOSPITAL

第41号

2023年10月

市立三次中央病院だより

花みずき

2023
6/12

「ふれあい看護体験」開催

三次・庄原地区の高校3年生39名が看護師の仕事などを体験



2023
5

東洋羽毛中四国販売(株)広島営業所さまより
車いすをご寄贈いただきました。



基本理念

私たちは地域の皆様から信頼され
親しまれる病院を目指します



病院長
永澤 昌
ながさわ ちやう

これからも地域医療が継続
できるために

■広島県は無医地区が多い

北海道の64地区に次いで、広島県は43地区と全国で2番目に無医地区が多い県です。そのうち、35地区が備北圏域にあります。

■交通手段のない独居高齢者が増えています

少子高齢化の流れは続きます。なかでも今後、女性の独居高齢者を主体として独居の方が増え、また医療機関への交通手段を持たない方がどんどん増えてきます。

■全国で地域の診療所が減少

地域では、診療所医師の高齢化も目立っています。地域医師へのアンケートでは、医療のDX化と相まって診療所を閉じる意向のある医師が多いのが事実です。後継する医師が見つからない理由は、患者数の減少がわかっているため、採算性がないためです。地域診療所の継続のためには、行政を巻き込んだのサポート体制が必要になっています。

■地域の病院のありかたと医療・介護人材の確保

今、市立三次中央病院は建替のための基本

市立三次中央病院

計画を策定しており、病床数と個室化率が検討課題になっていますが、結論は年末になりそうです。

病院は入院患者の急性期医療、救急医療に対応することが使命です。加えて、前記理由により、今後は診療所だけでは行き届かない医療ケアにも病院が参画することが求められます。オンライン診療を中心としてIT活用による訪問診療、看護・介護のDX化が進められるはずです。

そのためには、医師以外の医療・介護人材（看護師・介護士・薬剤師・リハビリスタッフなど）の確保がまず必要です。

■市民の皆さんが「わが事」と捉えられることが大切

三次市でも不足している医療・介護人材の確保のため、市民の皆さんも「わが事」として意識してください。面倒を見て欲しいときに面倒を見てくれる人材がいらないこととなります。そうならないように、病院としても各方面に働きかけをすでに行っているところですが、それが達成できないと、地域医療の中心システムである地域包括ケアの継続は機能不全に陥ります。若手を主とした医療・介護スタッフ確保が急務です。

（次号に続く）

※DX…デジタルトランスフォーメーション。デジタル技術を活用した変革のこと。

研修医ノート



研修医
いりえ けんすけ
入江 健輔

初めまして。令和5年4月より初期研修医として市立三次中央病院に入職しました入江健輔と申します。出身は大阪府枚方市（ひらかたし）です。京都の洛南高校、富士山が見える山梨大学を卒業しました。

趣味は時代劇、大河ドラマ、鉄道や地理歴史等です。

先日運転免許更新の際に（小学校修学旅行以来の）原爆ドームを訪問しお祈りを捧げました。初夏の太陽の中、川面を渡る風が涼やかで緑豊かな公園は美しく整備されていました。三次へ広島間の往復には「芸備線&高速バス」のどちらも割引符^{（1）}を利用しました。GWには風土記の丘を訪ね、遺跡から発掘された古代ローマ帝国のガラス玉の展示に三次の歴史を感じました。

病院では一か月単位で色々な診療科を研修させて頂いています。指導医の先生、医師先生方やコメディカルの皆様から大変温かく優しく丁寧な御指導を頂き感謝しています。

三次は全く初めての地です。人々が親切で優しく、心地良い鳥の鳴き声、緑豊かな美しい環境に安らぎを覚えています。皆様、どうぞよろしくお願い致します。



研修医
さくらい ゆういちろう
桜井 悠一郎

令和4年4月より市立三次中央病院にて初期研修医として勤務させていただきます。

シリーズ 認定看護師



腎不全看護認定看護師
大長 美智子
おおちょう みちこ

2022年に腎不全看護認定看護師の資格を取得しました大長美智子と申します。腎不全看護認定看護師とは、腎臓病の進展予防、腎代替療法（血液透析、腹膜透析、腎移植、保存的腎臓療法）の選択支援、継続的な生活・療養支援、合併症予防、専門知識を活かした安全・安楽な質の高い透析治療と看護の提供を行う役割があります。私は主に、安全・安楽な透析看護の提供・院内看護師からの相談対応・まちの保健室講座の開催・地域の医療従事者からの相談対応・看護専門学校の講師・学会やセミナーの講師などの活動・実践を行っています。



腎臓病と診断された患者さんのうち70%以上の方が健康診断をきっかけにして病気が分かったというデータがあります。健康診断で「要精査」の判定の場合は、かかりつけ医を受診しましょう。早い段階での受診行動が、この先の自分を守ることにあります。

私は現在、当院の人工透析室で勤務をしていますが、腹膜透析外来や腎臓病療養外来も担当しています。腹膜透析外来では、自宅で腹膜透析を行っている患者さんがより良い状態を維持できるよう、自己管理支援や精神的支援を行っています。また、自宅での腹膜透析の実施状況の把握、食事指導や生活指導、バック交換手技の確認、チューブ交換なども行っています。

腎臓病療養外来では、腎不全保存期患者を対象に、できるだけ生活の質（QOL）を維持しながら生活していけるような療養選択説明を行い、患者さんやご家族と一緒に治療法を考えています。また、腎機能の悪化をできるだけ緩やかにするような生活改善などの支援も行っています。

人工透析室でも外来でも、対象となる患者さんがその人らしく、生きがいや生活目標を持った生活が送れるよう支援しています。何かご相談がありましたら、お声がけください。



透析中のバイタルサインチェック中



研修医6名で頑張っています！

いております、桜井悠一郎と申します。

三次の土地で働き始めてから早くも一年半が経ちました。三次で迎えた初めての冬は大雪に見舞われ大変な思いをしたことはまだ記憶に新しいですが、そんなところも含めて三次の街のいろいろな面を知ることができたと思います。私事ですが、今年の春にキャンプ道具を一式そろえ、またまった時間があれば気軽にキャンプに行って楽しく休日をご過ごしております。

初期研修の期間も半分以上経過し、将来の進路をそろそろ決めなければならぬ時期になりました。去年一年間いろいろな科で研修をしてさまざまな経験をさせていただきましたが、特に内視鏡検査・治療が面白く感じましたため、消化器内科の道に進もうと考えております。

残る研修医の期間も少なくなりましたが、これからも日々精進してまいりますので、今後ともよろしくお願い致します。

連載 がんの治療 ③2

脾臓がんについて

外科医長 近藤 成

【脾臓がんについて】

脾臓がんは、日本人において年間約4万人以上がかかる病気であり、がん臓器別の死者数でも第4位で、決して珍しい病気ではありません。5年生存率も8〜9%と極めて予後不良ながんの一つであります。しかし、様々な医療の進歩により、少しずつではあります。治療成績は向上してきています。

【脾臓がんの治療について】

脾臓がんは、非常に治療が難しいがんではありますが、手術療法をはじめ、様々な治療を組み合わせることで、完治できる場合もあります。脾臓がんの手術を行うためには、診断されたときに、肝臓や肺といった脾臓から離れた臓器に転移を認めず、周囲の大きな血管に浸潤がないことが条件となります。現在、このように手術が可能で診断される脾臓がん患者さんの割合は、全体の約30%程度と言われており、非常に少ないのが現状です。脾臓がんを早期に発見し、手術が可能な状態に

治療を行うことが、脾臓がんを克服するうえで、極めて重要なことであると言えます。

【最新の脾臓がんに対する治療】

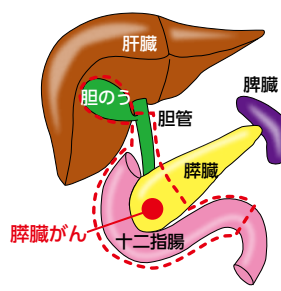
以前は、手術が可能な脾臓がんの方に對しては、すぐに手術を行っておりましたが、手術後に再発される方が多いのが問題でした。そこで、様々な臨床研究が行われ、手術が可能な脾臓がんの方でも、手術の前に一定期間（多くは2〜3か月程度）化学療法を行うことで、手術後の成績が良くなることになり、現在では、手術の前に化学療法を行うのが、標準的な治療方針になっています。

【脾臓がんに対する手術】

脾臓がんに対する手術は、腫瘍の存在する部位によって異なりますが、一般に、腫瘍が脾頭部より（十二指腸に近い方）の場合は、脾頭十二指腸切除術（図1）、脾尾部より（脾臓に近い方）の場合は、脾体尾部切除術（図2）が行われます。いずれも比較的大きな手術で、手術時間も長いため、体への負担は少なくあり

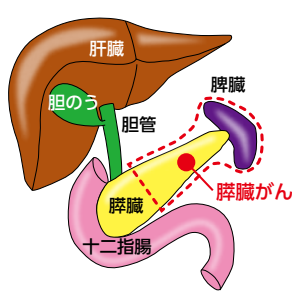
ませんが、近年では様々な医療技術が進歩して、こうした難易度が高い手術も、かなり安全に行えるようになり、80歳以上といった高齢の患者さんに対しても、積極的に脾臓がんに対する手術を行っています。

図1



脾頭十二指腸切除

図2



脾体尾部切除

【術後について】

脾臓がんは、手術を行い脾臓の腫瘍を取り除いても、術後5年以内に6〜7割の方が再発をしてみう、悪性度の高いがんです。再発する可能性を少しでも低くするため、手術の後も一定期間、化学療法を行うことが推奨されています。現在わが国では、S1（テガフル・ギメラシル・オテラシルカリウム）という抗がん剤を、術後約6か月間内服することが、標準治療とされています。

がんの早期発見のために PET検査 検診 を

いつまでも健康でいたいから

市立三次中央病院では、がんの早期発見を目的に、病巣部を速やかに診断する「PET画像」と、細やかな位置情報を見つける「CT画像」がひとつになったPET-CTによる検診を行っています。「PET-CT検診」は短時間で一度に全身のがん検診ができ、診断の精度が向上し、より詳細な病変を検出することが可能です。

ご退職や誕生日・結婚記念日など人生の節目や記念日にPET検診の受診はいかがでしょう。



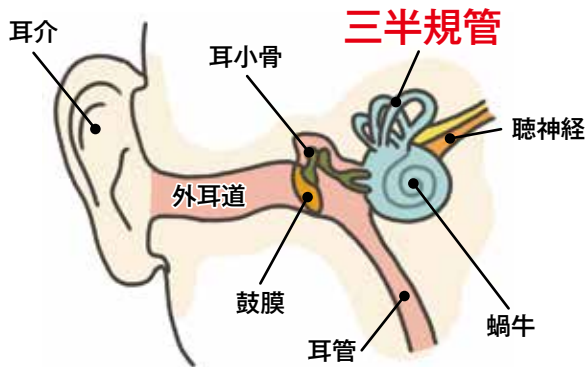
検診料金 88,000円(税込)



【お申し込み・お問い合わせ】

健診センター TEL(0824)65-0620 FAX(0824)65-0621

耳の構造



人は周囲の空間や位置を目・耳・手・足の裏などで感知し、その情報を脳で統合し、四肢や神経系に伝えることで微妙な体のバランスをコントロールしています。その仕組みのどこかの具合が悪くなると、バランスがとれなくなり、めまいが起こります。

めまいとは



めまいについて

耳鼻咽喉科

隅田 良介

めまいの原因

めまいにも様々なめまいがあり、回転性めまい（目がぐるぐるまわる感覚）、浮動性めまい（ふわふわするような感覚）、血の気がひくような感覚や脱力感をめまいと感じる方もいるようです。めまいの原因は、脳梗塞や脳出血といった頭の病気、不整脈、貧血、内分泌疾患など多岐にわたりますが、耳鼻咽喉科ではその中で三半規管などの内耳が原因となるめまいの診断、治療を行っています。

危険なめまいとは

頭の中の病気で生じためまいは命にかかります。頭の中のめまいと耳からくるめまいの違いを見極めるポイントが、めまい以外の症状の有無です。

例えば、ものが二重に見える・ふらつきが回らない・手足にしびれや麻痺がでている・激しい頭痛がする・意識がなくなるといった症状を

伴っている場合は速やかに神経内科または脳神経外科を受診してください。吐き気・嘔吐は内耳由来でも脳由来でも起こりますので、区別には役立ちません。

代表的な耳のめまい

■良性発作性頭位めまい症

日常診療で大変多い病気です。特定の頭の位置（寝返りをうったり、寝たり起きたりする時など）で出現するめまいです。めまいは数十秒しか続かず、耳鳴りや難聴はありません。耳石が三半規管に進入することによって起こります。耳石を元に戻すための頭を動かす体操が有効です。

■メニエール病

めまい発作の時に片側の耳鳴り、難聴と一緒に起こり、めまいが消えるころにはそれらの症状も軽快、消失します。この病気は発作を繰り返し、耳鳴りや高度の難聴が残ることがあります。薬物治療、生活習慣の改善が主な治療です。

■前庭神経炎

突発的に激しい回転性めまいが起こり、数日間から数週かけて徐々におさまりません。難聴や耳鳴りは起こりません。急性期ではめまいや吐き気を抑えるための薬を使う治療を行います。再発することはほぼありません。

めまいの検査

●重心動揺検査

直立姿勢のまま目を開いたり閉じたりして、身体の揺れを記録します。バランス機能を調べる検査です。



重心動揺検査の様子

●眼振検査

めまいが起きている時、目は振る子のように小さく揺れています。この意識のない目の揺れを眼振といい、眼振の現れ方を観察することで、めまいの有無や程度、原因を調べます。



フレンツェル眼鏡を用いた眼振検査の様子

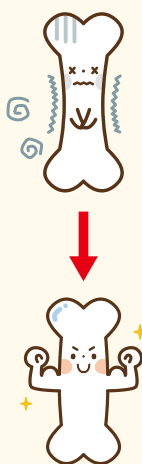
骨粗鬆症治療薬について知ってほしいこと。

薬剤科主任 瀬藤 夕貴

今回は骨粗鬆症の治療薬について紹介していきます。

骨粗鬆症治療薬には大きく分けて3つのタイプの薬があります。

- ① 古い骨を壊すのを抑えて骨を増やす薬
- ② 新しい骨を作るのを強める薬
- ③ 骨の基質を高める薬



① 古い骨を壊すのを抑えて骨を増やす薬

デノスマブやビスホスホネート製剤（BP薬）と呼ばれる薬があります。

デノスマブは半年に1回、医療機関で皮下注射する薬です。

BP薬は1日1回内服、1週間に1回内服、1ヶ月に1回内服など、患者さんの生活に合わせた薬剤選択ができます。

これらの薬には、「顎骨壊死」と呼ばれる顎の骨がもろくなってしまう副作用があります。

副作用予防のため、口腔内のチェック、歯科受診をするようにしてください。

【BP薬内服時の注意点】

- 空腹時（主に起床時）に飲む。
- コップ1杯の水と一緒に飲む。
- 飲んだ後30分は水以外の飲食を控えて、横にならないようにする。



② 新しい骨を作るのを強める薬

新しい骨を作り出すには、パラトルモン（PTH）といわれるホルモンが必要です。パラトルモンを補充し、新しい骨を作る力を強めるPTH製剤と呼ばれる薬があります。

PTH製剤は注射のみで、自分で注射するか、医療機関で注射するかの2タイプです。自分で注射するタイプは、毎日注射、週に2回注射するタイプがあります。

PTH製剤は、生涯のうちで利用できる期間が決まっている薬です。使用期間の把握など、サポートツールも充実しているので、必要な場合は薬剤師にご相談ください。



【PTH製剤使用の注意点】

- 時間を決めて同じ時間に注射する。
- 注射は腹部か大腿部（ふともも）か上腕部に注射する。
- 注射する位置を毎回変える。
- 使用時以外は冷蔵庫で保管する。

③ 骨の基質を高める薬

ビタミンD製剤があります。骨を作るには、カルシウムやビタミンDが必要です。ビタミンDは骨の材料となるカルシウムの吸収を助けたり、カルシウムが骨にくっつくのを助けてくれる効果があります。ビタミンDを補充することで、骨の基質を改善する効果が期待されます。

◆最後に：

これまで様々な骨粗鬆症治療薬を紹介してきましたが、いかがだったでしょうか？

骨粗鬆症治療薬すべてにおいて大切なことは薬を継続して使用することと言われています。ご自身に合った薬剤を選択し、骨粗鬆症治療を継続してください。

ふれあい看護体験を 開催しました

6月12日(月)に、高校生ふれあい看護体験を開催しました。このイベントは、看護に対する認識や理解を深めるとともに「看護の心」に触れていただくことで、看護の道を志すきっかけづくりになることを目的としたものです。今年は72名という多くの高校生から応募がありましたが、受け入れの都合上、残念ながら人数制限をさせていただき、最終39名の参加となりました。



参加した高校生からは

- ・患者さんから「気持ちいいよ、ありがとう」と言ってもらえ、自分が患者さんのためになったことがとてもうれしかったです。
- ・看護師はとても大変な仕事だけど、その分やりがいも感じる事ができる素敵な仕事だと思いました。
- ・今回の体験で、必ず看護師になる、という思いが強くなりました。



などたくさんの感想を聞くことができました。

高齢社会の中で、看護師の果たす役割、使命はますます重要になってきています。

今回の看護体験を通して、将来を担う高校生が少しでも看護への関心と理解を深め、地域を支える看護職を目指してくれると嬉しいです。

看護副部長 佐藤 幸江

看護部からのお知らせ！

看護部のホームページを開設しました。

随時新しい情報を発信していきますので、ぜひアクセスしてください。



↑市立三次中央病院
看護部HP





がん相談支援センターのご紹介

がん相談支援センターは、がん相談員ががんに関する相談を受ける窓口です。
患者さんやご家族のお気持ちを支え、各種相談をお受けしたり、日常生活を支援し、患者さんやご家族の不安を軽減するためのお手伝いをしています。
院内外問わず、地域の方や当院通院歴のない方など、どなたでもご利用できます。お気軽にご相談ください。



左記のような
ご相談に対応
しております。

- ▶がんについて詳しく知りたい ▶治療法について詳しく知りたい
- ▶セカンドオピニオンについて相談したい ▶緩和ケアについて知りたい
- ▶仕事を続けられるか心配（仕事と治療の両立支援）
- ▶アピアランスケアについて知りたい ▶他のがん患者さんと話をしてみたい など

【問い合わせ先】がん相談支援センター（1階受付隣り ⑩患者支援センター内）／TEL(0824)65-0101

第13回みよしぶどう友の会

秋のウォーキング大会 参加者募集

みよしぶどう友の会では、『秋のウォーキング大会』を開催します。ウォーキングで健康づくり、仲間づくり、そして糖尿病などに関する知識を深めてみませんか？

健康に興味・関心のある方、大歓迎です！

ぜひ、お気軽にご参加ください!!(要申込)

- ◇日時：令和5年11月12日(日)
10時～12時(雨天決行)
- ◇集合場所：市立三次中央病院 健診センター2階 講堂
- ◇内容：ノルディックウォーキング(みよし運動公園内)
血糖測定(運動前後)、医師によるミニ講義
フットチェック
- ◇参加費：無料 ◇申込期限：10月25日(水)



【お申し込み・お問い合わせ】

医事課：TEL(0824)65-0101／FAX(0824)65-0159

Email:iji@city.miyoshi.hiroshima.jp

がんサロン「たんぽぽ」

がん患者さんやご家族の方を対象に、がんサロン「たんぽぽ」を開催しています。同じ悩みを話したり、聞いたり、泣いたり、笑ったり…ひとりで悩まないでみんなと語り合うことで、気分転換や不安の軽減にもつながります。

参加費無料です。予約は必要ありません。当日直接会場へお越しください。

- ◇場所：緩和ケアセンター（売店横）
- ◇時間：14時～15時
- ◇今後の予定

- 10月17日(火)おしゃべり会
- 11月21日(火)感染予防対策について
- 12月19日(火)おしゃべり会
- 3月19日(火)おしゃべり会



【お問い合わせ】

がん相談支援センター

TEL(0824) 65-0101

令和5年

10月22日(日)
8時～16時30分

お願い 救急診療等の制限について

電気設備の定期点検を行います。この間、一時的に停電するため、外来救急患者さんの診療を制限させていただきます。ご協力をお願いいたします。

病院ボランティア募集

～あなたの思いやりを患者さんへ～



院内でボランティアとして活動していただける方を募集しています。皆さんの善意の活動をお待ちしています。詳しくは、当院HP『ボランティア募集』をご覧ください。
医事課へお問い合わせください。

【お申し込み・お問い合わせ】医事課：TEL (0824) 65-0101/Email : iji@city.miyoshi.hiroshima.jp

